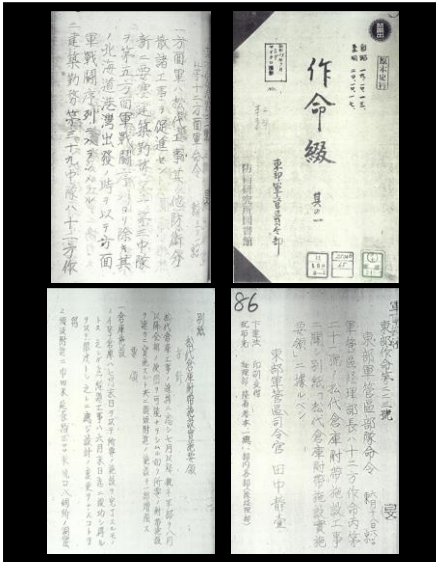


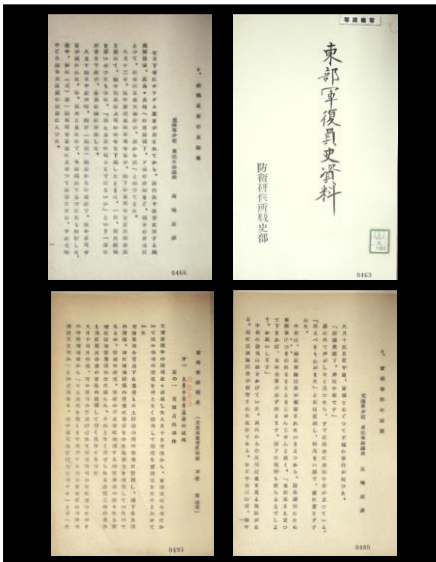
平成30年度も、各都道府県出身の陸海軍将官の中から毎月一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物などに関連する史料を紹介しています。

たなか しずいち
《 田中 静彦 1887～1945年 》
一兵庫県出身の陸軍大将一



作命綴 其の一 東部軍管区司令部 (登録番号: 本土-東部-245-2)

田中静彦大将は、明治40年5月陸軍士官学校(19期)を卒業後、英国、米国等の駐在武官や憲兵司令官、比島防衛に任じる第14軍司令官などの要職を経て、昭和20年3月9日から終戦まで第12方面軍司令官兼東部軍管区司令官に就任、本土決戦準備を推進します。この史料には、松代工事の促進を命じる第12方面軍命令(昭和20年6月5日付)と、これに基づく東部軍管区部隊命令(昭和20年6月18日付、含む別紙「松代倉庫附帯施設実施要領」)などが綴られています。松代工事は、昭和19年秋以降、本土決戦を想定して大本営及び政府中枢機関を長野県松代町(現長野市松代地区)の山中に移転するための地下洞窟工事で、軍はこの工事を松代倉庫工事、略してマ工事と称していました(他に、吉田栄一元建技大尉「松代大本営工事回顧」本土-築城要塞-32、「松代倉庫新設工事設計図」本土-築城要塞-59)。



東部軍復員史資料 (登録番号: 文庫-抽-166)

ポツダム宣言受諾の聖断が下った昭和20年8月14日深夜から翌未明にかけ、徹底抗戦派の青年将校によるクーデター、いわゆる宮城事件(八、一五事件)が生じます。クーデター参画を拒否した近衛第1師団長森越中将とその場に居合わせた第2総軍参謀白石通教中佐を殺害、偽の師団命令を発して宮城を占拠します。反乱軍決起を知った田中軍司令官は、参謀の不破博大佐と副官の塚本清少佐を従えて宮城内に入り、近衛第1師団の出動を抑えて事件を解決します。8月24日、最後の反乱となった川口放送所占拠事件を解決した田中は、司令部内自室で自決します。この史料には、元東部軍参謀長高嶋辰彦少将の「終戦直前の東部軍及宮城事件の回想」と不破元参謀の「東部軍終戦史」が綴られています(他に、塚本元副官「八、一五事件に於ける田中静彦大将」『陳述書 巻四』中央-終戦処理-108)。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない、一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「閲覧が一時不能となる史料」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断転載・複製はお断りします。
防衛研究所企画部企画調整課
専用線：8-6-29171、29175 (史料紹介コーナーのみ29651)
外線：03-3260-3011
FAX：03-3260-3034 ※ 防衛研究所ウェブサイト：<http://www.nids.mod.go.jp>